

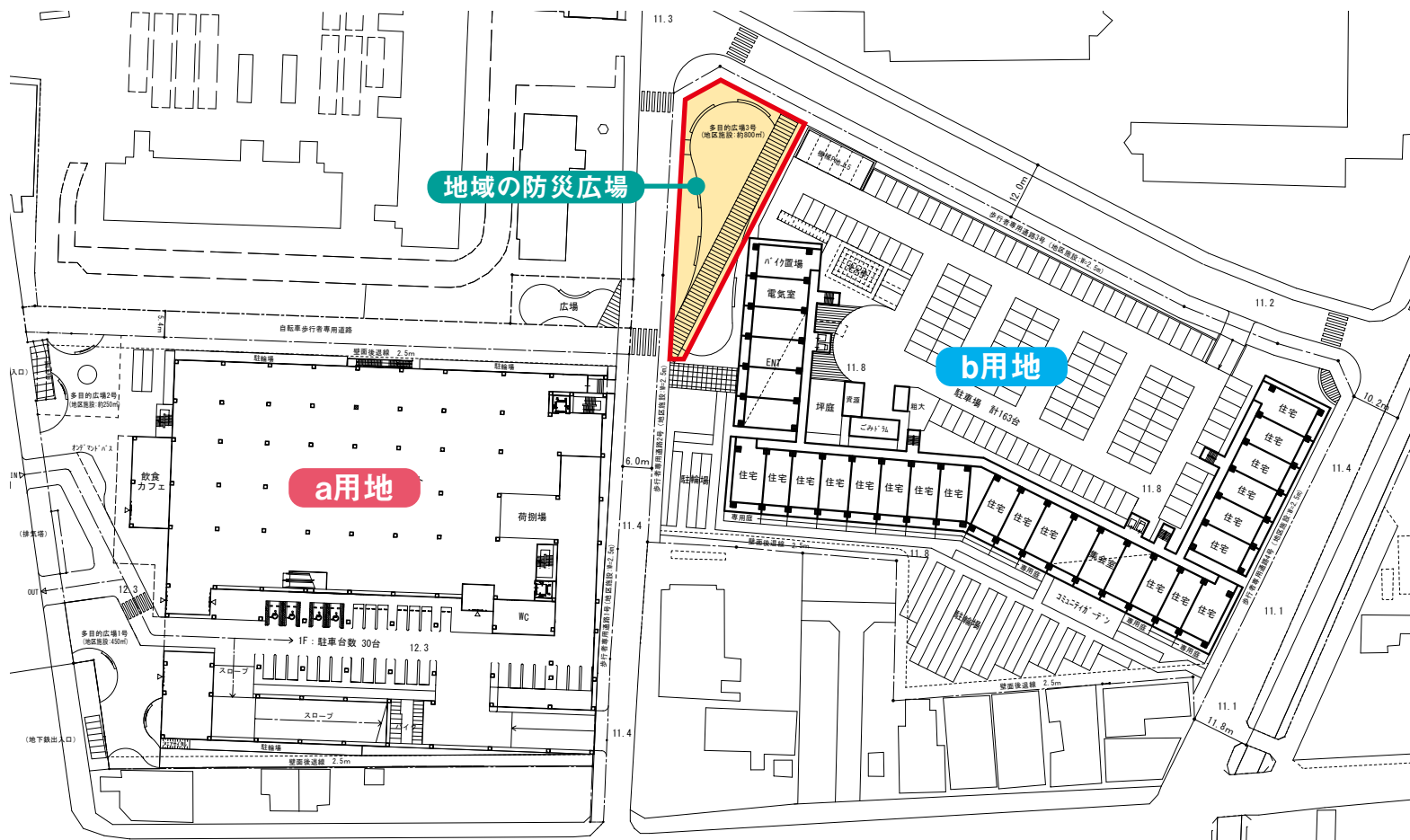
施設整備計画（導入機能・空間整備） 防犯・防災力向上への配慮

防犯・防災力向上への配慮

共同住宅

防犯効果を高める取り組み

- 侵入者の足場となりやすい塀や死角をつくる樹種を避け、生垣やオープンな外構、樹木の適切な配置によって沿道の視線に配慮した空間づくりを行います。
- 多目的広場をはじめとした共同住宅周辺の通路には夜間も歩きやすい庭園灯を採用し、防犯カメラを適宜設置することで地域の防犯性向上に寄与します。
- 多目的広場は日常的な動線やイベントを通じて、地域に親しみのある広場とし、防災広場の看板によって認知度を高めます。



新しい街区の中心に位置し、地域の防災広場として機能する多目的広場



多目的広場イメージ

災害時の配慮

- 共同住宅敷地内の地区施設である多目的広場（約800㎡）を地域の防災広場と位置づけ、災害時の拠点とします。
- 共同住宅の多目的広場付近に防災倉庫を設け、マンホールトイレやかまどベンチ、非常用飲料水生成システムをはじめとした各種防災備品を設けることで、共同住宅住民だけでなく地域の方々に開放して地域の防災力向上に貢献します。
- 共同住宅は**水害時避難ビル**指定を受け、災害時に駅やにぎわい・集客拠点施設利用者、地域住民等の避難・退避が可能な施設とし、地域全体の防災力向上に貢献します。



水害時避難ビルの収容人数…1,300人程度収容
※人数根拠 避難場所→3F以上外部開放廊下(2,600㎡) ※2㎡/人にて算出

非常用飲料生成システム

災害発生時などの非常時の際、一時的に生活用水を供給する「非常用飲料生成システム」を設置します。



非常用マンホールトイレ

災害時、汚水排水用マンホールに設置するだけで簡易トイレとしての使用が可能な組み立て式「非常用マンホールトイレ」を準備します。



かまどベンチ

通常時はベンチとして、災害などの非常時は炊き出し用のかまどとして利用することのできる「かまどベンチ」を設置します。

